



立竹田高等学校関東同窓会懇親会

第4回総会・「荒城の月」の大合唱 2・5・19・高輪プリンスホテル



臥牛

大分県立竹田高等学校
 関 東 同 窓 会
 会 報

発行者・会長 後藤 鉄石
 編集者・足立 五郎
 印刷所・森 印刷
 03 (551) 4 4 7 0

第四回総会・懇親会

於 高輪プリンスホテル

五月雨の降りしきる五月十九日(土) 第四回総会を開催。悪天候にもかかわらず会員の約一割にあたる一四五名が出席。司会長吉幹事長。後藤会長のあいさつ。幹事長の会務及び会計報告等会次第にしたがつて淡々と進行。出席者の胸中は、つとに次の懇親会と見受ける。

さて、その懇親会は志生野温夫アナウンサーの名司会で進行。母校倉原校長、田北同窓会長の祝辞に続いて、宮崎名誉会長の発声で乾杯。会はいっきにもり上がり、旧交を暖めあう歓談の輪が展開された。

平成元年度会務報告

幹事長

長 吉 泉

第三回総会・懇親会は元年六月三日一七〇名が出席、品川プリンスホテルで開催。当日倉原校長が来席できないため五月二十五日、先生の上京を機に会長以下十五名により先生を囲んで懇親と総会の打ち合せの会をもった。次に、会報を発行することとし、十一月一日広報委員会(足立五郎委員長)を設置。二回の編集会議等を経て十二

- 月二十五日第一号を発行、印刷を森哲生委員が担当。会報名を募集の結果四月十四日の幹事会で「臥牛」と命名。他の事項に関しては紙幅の都合で開催名のみを掲げ会務報告に替えた。
- 六月十日、財務委員会。
- 七月六日、正副会長、幹事長会。
- 八月三日、常任幹事、幹事、各委員会。
- 九月七日、正副会長、幹事長会。
- 十月十二日、財務委員会。
- 十月十九日、正副会長、幹事長会。
- 十一月一日、広報委員会発足。委員長及び委員選任。
- 十一月十一日、常任幹事、幹事会。新組織委員長選任。
- 十一月二十七日、財務委員会。
- 十一月二十七日、広報委員会。
- 十二月六日、組織委員会。
- 十二月二十五日、同窓会報策一号発行。
- 平成二年
- 一月十八日、正副会長、幹事長会。
- 二月十日、企画委員会。
- 二月十五日、正副会長、幹事長会。
- 三月八日、正副会長、幹事長、各委員長打合わせ会。
- 三月十六日、広報委員会。
- 三月二十二日、財務委員会。
- 三月二十四日、組織委員会。
- 三月二十六日、企画委員会。
- 四月十四日、常任幹事、幹事会。
- 四月二十四日、財務委員会。
- 五月八日、正副会長、幹事長、企画、組織、財務各委員長会。

満三周年を終えて

幹事長 長吉 泉

一、あゆみ

一九八六年十一月三十日、神田駿河台の主婦の友会館に同窓生四十名が招集され、同窓会長大津省吾先生と校長首藤忠良先生が上京されて、関東支部の再発足を強く要望、基金十五万円を

置いて帰られた。その後六ヶ月間、目まぐるしい準備の末、五月三十日、両先生始め小代基雅校長、田北和義先生(現同窓会長)、今永信弘事務長及び菅謹一郎PTA会長並びに在京の四名の来賓を迎え、二二五名が参加して日比



幹事会 4月13日 学士会館

谷の日生ホールで賑わしく発会した。

以後満三年が経過し本年五月十九日第四回総会を催すに至った。この間、企画(佐藤映之委員長)組織(働飯倉次男(現栗生利信委員長)財務(甲斐正和委員長)及び広報(足立五郎委員長)の四委員会が設置されるなどして積極的な活動が展開され一応の礎石を築くことができた。その「あゆみ」の概況は凡そ別表のごとくである。

二、今後の課題

別表を参考にしながら若干の私見を述べてみたい。

〔別表〕

	設立時	初年度	第2年度	第3年度
(会員数)				
維持会員数	0名	139名	152名	152名
普通会員数	1,217名	1,208名	1,325名	1,298名
合計	1,217名	1,347名	1,477名	1,450名
(総会)				
出席者数	225名	165名	170名	145名
参加費収入	164万円	99万円	100万円	95万円
関連諸支出	187万円	124万円	155万円	130万円
差引	△23万円	△25万円	△55万円	△35万円
(一般会計)				
(収入)				
維持会費収入	—	84万円	105万円	106万円
普通会費収入	—	16万円	13万円	2万円
その他の収入	15万円	—	—	55万円
合計	(15)万円	(100)万円	(118)万円	(163)万円
(支出)				
会議費支出	12万円	5万円	12万円	31万円
その他の支出	—	—	5万円	7万円
合計	(12)万円	(5)万円	(17)万円	(38)万円
一般収支	3万円	95万円	101万円	125万円
収支合計	△20万円	70万円	46万円	90万円

その一は、会員の把握である。現在の一四五〇名は昭和四十七年以前の卒業生で、その後の十八年間の同窓生が把握できていない。若い会員を発掘するとともに、魅力溢れるイベントを組むなどして無理に勧誘することなく、皆が楽しく参加できるよう工夫を凝したい。

その二は、十分な財政の確保である。年二回の充実した会報の発行、総会等における魅力あるイベントの提供、新卒者の招待などを考えるとき、現在の財政では話にならない。別表でお解りのように普通会費には全く期待できない。維持会費の増強に努めるとしても

限界が感じられる。

そこで、至難ではあるけれども、五千万円程度に達するまで粘り強く寄付をお願いして基金を設け、その果実を経費に充当することはできない相談であろうか。寄付者の功績を後世に伝えたいと思う。



会報紙名「臥牛」に寄せて

副会長 渡辺 正 治



旧制竹田中学の校歌に謳われた臥牛城は、岡城の別名である。この古城が築かれた丘陵の北側と南側を、西から東に流れる稲葉川と白瀧川が十川で合流し、東西に細長く急峻な

白瀧川を隔てた道路から、それを眺めながら通学したものである。昭和十二年二月十六日の日記より、昨日映画「荒城の月」を見て、古城の思い出に耽っていたら、今日の毎日新聞に「名曲を生んだ岡城址」として、滝氏が土井晩翠の詩によって作曲する前に、自作の歌詞によって作曲しようとした事を報じている。その歌詞は、

企画委員会は組織、財務、広報の各委員会からの強力な援護射撃を受けながら年に一度開催される総会、懇親会を主として担当しています。毎回準備にかかる際に際しては「前回よりもより充実した内容を」テーマにスタートしています。今年も二月より始動しました。会員の皆さんが一人でも多くご参加いただけるための諸条件は何であろうか？又伝統ある竹田高校の関東同窓会としての名に恥じない中味にするにはどうしたらよいのだろうか？開催にあたっての日時、場所、会場イメージ、会費、会場演出等々の諸要素を出来るだけ考慮するよう取り組んでいます。しかしながら毎回終わってみれば不手際が随所に残り次回への宿題をかかえ込むのが常となっています。総会運営の良否の結果は一つの尺度として出席人数に求められ関係者として一喜一憂するものです。会員の皆さんに次の二点をお願ひ致します。

時折耳にします。同期会の盛んな年次の方はそのパワーを同窓会にも又そうでない年次の方は同窓会に絡ませて友情の輪の拡大を、卒業年次は異にしても同町出身、友人知人等巾広くお誘い下さい。

次回のご参加お待ち致しております。
(委員長・佐藤)

崖に囲まれた天然の要害を形成している。

外堀は 田にすきかえされ
内堀は 年毎にあせて

第一回委員会を開催
開催日 平成元年十二月六日
場所 談話室 滝沢(新宿西口)
出席者 八名

議事 本委員会の目的は、竹田高校の発展が目標である。そのためには現在委員は五名であるが、これを卒業年度三年置き位の人を選任し組織を拡大して活動すべきであると発言があり、その意見に従い実行することにした。

いつ頃誰がこの名称を付けたのかと、岡藩、唐橋世済の豊後國志と北村先生の中川史料集を調べて見たが、遂に発見する事が出来なかった。

水草いる辺に 橋枕朽ちて
野菊咲く蔭に いしずえ残る
一の木戸か 二の木戸か
君候の 住みなれし 大殿いづら
武士の侍いし 広間はいづら
春霞 かすみか こめし
秋霧の 立ちか 隠せる
ただ麦秀で 豆みのる
あなあわれ狐なく あなた
月寒き こなた 天主の跡
出丸の跡
(以下略)

第二回委員会を開催
開催日 平成二年三月二十四日
場所 談話室 滝沢(新宿西口)
出席者 十一名

議事 組織委員は十三名に拡大した。竹田高校関東同窓会第四回総会を盛大に挙行しよう!! そのため一人でも多くの参加者を呼びかけよう。
各委員は同窓生を最低十人以上、勧誘するよう申し合わせをした。
(委員長・粟生)

城南の片ヶ瀬台地から眺めた城山の形が、一番高い西丸の辺りを頭とし本丸を背中に、東に向ってなだらかに下り、両川の合流する辺りを尾部とする牛の臥した姿を想わせるので、文人、墨客の誰かが付した名称であろう。

牛のうづくまるのを臥牛と言ひ、猫の寝姿は漱石によると香箱と言うそうであるが、いずれも体を内側に曲げた胸の辺りに窪みが出る。

臥牛城のその窪みの所に民家があり、春には梅の花が見事に咲いた。

付記：別掲の写真は亡父渡辺長男の作品「臥牛の像」である。

臥牛城のその窪みの所に民家があり、春には梅の花が見事に咲いた。

付記：別掲の写真は亡父渡辺長男の作品「臥牛の像」である。

付記：別掲の写真は亡父渡辺長男の作品「臥牛の像」である。

付記：別掲の写真は亡父渡辺長男の作品「臥牛の像」である。

臥牛城のその窪みの所に民家があり、春には梅の花が見事に咲いた。

付記：別掲の写真は亡父渡辺長男の作品「臥牛の像」である。

付記：別掲の写真は亡父渡辺長男の作品「臥牛の像」である。

付記：別掲の写真は亡父渡辺長男の作品「臥牛の像」である。

臥牛城のその窪みの所に民家があり、春には梅の花が見事に咲いた。

付記：別掲の写真は亡父渡辺長男の作品「臥牛の像」である。

付記：別掲の写真は亡父渡辺長男の作品「臥牛の像」である。

付記：別掲の写真は亡父渡辺長男の作品「臥牛の像」である。

臥牛城のその窪みの所に民家があり、春には梅の花が見事に咲いた。

付記：別掲の写真は亡父渡辺長男の作品「臥牛の像」である。

付記：別掲の写真は亡父渡辺長男の作品「臥牛の像」である。

付記：別掲の写真は亡父渡辺長男の作品「臥牛の像」である。

臥牛城のその窪みの所に民家があり、春には梅の花が見事に咲いた。

付記：別掲の写真は亡父渡辺長男の作品「臥牛の像」である。

付記：別掲の写真は亡父渡辺長男の作品「臥牛の像」である。

付記：別掲の写真は亡父渡辺長男の作品「臥牛の像」である。

臥牛城のその窪みの所に民家があり、春には梅の花が見事に咲いた。

付記：別掲の写真は亡父渡辺長男の作品「臥牛の像」である。

付記：別掲の写真は亡父渡辺長男の作品「臥牛の像」である。

付記：別掲の写真は亡父渡辺長男の作品「臥牛の像」である。

ふるさと短信



心のふるさと臥牛城

竹田市長 後藤 宗昭

志を抱いて全国各地でご活躍の県立竹田高校同窓生の皆さんに、心より激励を申し上げます。

人はみな、やがてはふるさとへ帰る。私もふるさと竹田の市長として『チエのある人はチエを、力のある人は力を、ふるさと振興にお寄せ下さい』と呼びかけています。幸に多くの方々から何かとご配慮を頂き厚くお礼申し上げます。

私にとって平成元年度は、市長就任三期目十年の節目に当たります。市政の執行に当たっていつも思い出すのは、若き日の校歌『暁早く』であります。

◎臥牛城頭輝きし……。岡城の公有化も実現し、今その整備と活用にとりくんでいます。又岡城を中心に文公園を整備し『昔の光今ここに』を目指しております。

◎清流稲葉永劫の……。稲葉川中小河川の改修・稲葉ダムの建設によって災害に強い街づくりと共に地域の活性化を願って「ふるさと川モデル事業」と

しても稲葉川の修景に着手しています。公共下水道、合併処理槽の普及で清流を守る努力も致しております。

◎楽聖画聖吾等が師……。念願の滝廉太郎先生の旧宅公有化も実現できそうです。童謡詩人佐藤義美さんも竹田出身であることがわかりました。

今年四月二十九日第一回童謡祭を企画しました。又本年は熊澤藩山先生没三百年祭を行います。岡藩主中川久清(入山公)は、当時藩山先生の指導を仰ぎ植林や土地改良事業をすすめ、岡藩七万石が実質十万石になったと言われています。

三宅山(朝地町)、城原山、戸上、戸

FM大分誕生

佐藤 毅 士

(平成二年春・記之)

下、石打山、徳原山、高尾峠、若松峠、長谷、周里の谷等に松、杉、桧を植林。水路では、城原井路、上自在井路、和旧井路、井上井路等々が開発されています。そのため岡藩は、県下有数の水田地帯となりました。

しかし、このことは現在では逆に激変する経済社会情勢に対応するための水田転作に時間がかかって苦労しています。ポスト新農業構造は、いかにあるべきかを今真剣にとりくんでいるところです。

大船山の中腹に眠る入山公は、岡藩の現状をどのようにご覧になつて居ようか。私は、地域を越え時間を越えて岡藩の発展を考えているところです。

終りになりましたが、竹高関東同窓会の役員並びに会員の皆様のご活躍と会の発展充実を祈ってご挨拶と致します。

大分ソフィアビル

支社・東京都中央区築地二ノ一

二、秀和築地レジデンス

子備免許の内容

呼名称・JOJVFIFMエフエ

フ おおいた

周波数88・0MHz、
送信出力 1kW
放送区域・大分県及びその周辺
資本金・八億円

以上の内容で大分県をはじめ、県内の有力企業が資本参加して、今年四月四日に設立され、社長には丹羽登氏が就任しました。

五月二十四日に、東京で第一回代理店説明会が開かれ、電通、博報堂など在京の広告代理店のFMラジオの担当者の方々二百人が参集されました。引き続き、大阪、博多、本社の大分の基本的姿勢を発表しました。

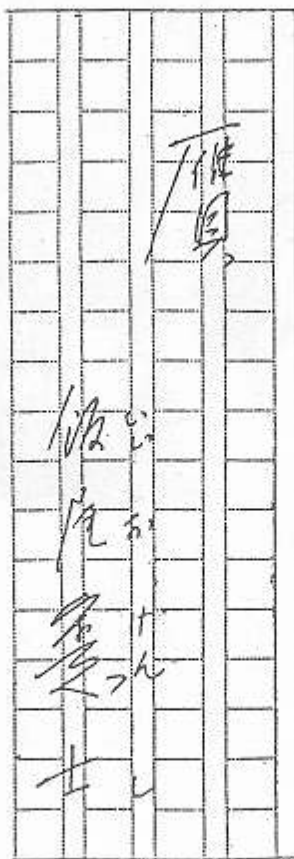
大分は、フランシスコ・ザビエルによつて西洋音楽が、わが国でははじめて発祥したという歴史を持つ土地柄です。エフエム大分も新しい音楽情報を発信する基地として、中国、四国、九州地区では初めての独立局で、その番組編成はユニークなものになることでしょう。ツウウェイ方式のリスナーに愛されるニューミュージックの情報伝達局として積極的な展開を検討中です。

愛称は、エアールエディオ88(エイティエイト)パーキイミュージックフアクトリーです。

新しい二十一世紀へ向つて、世界の音楽情報すべてをオンエアするとう夢をのせて皆様と共に飛翔したいと思ひます。今後、よりいっそう積極的なご提言を心からお願ひします。

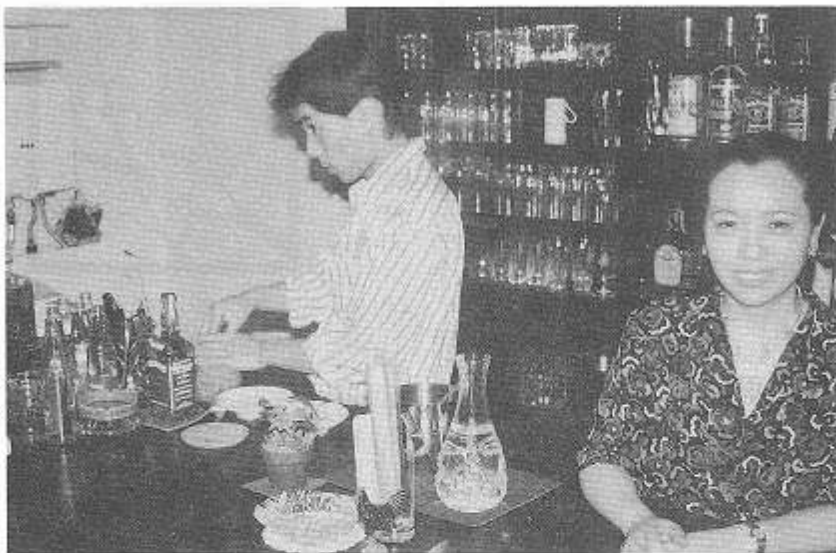
(FM大分東京支社長・二十八年卒)

会員点描(その二)



今年のはじめ、読売新聞から「ふるさと」について原稿を依頼されました。そこで、生まれた「故郷」だけが「ふるさと」ではない、と書きました。心に染みだした思い出の土地は、すべてその人にとって「ふるさと」なのでありましょう。ですから、「愛郷心」などナンセンスである、とも書きました。ついでに、「愛国心」は戦争を起こす元凶であると、カッと眼を据えて書きました。国を愛するなど、ケチな考えを持ってはならぬ。「愛人間心」であるべし、というわけであります。

三、四年前、大分県医師会総会が竹田で開かれ、何かシャベレと東京に電話がまいました。玉来のちかくの文化会館に、多くの人が集まっています。一時間半、「夕陽に染まる裏通り」と題して、ボソボソしゃべりました。裏通りにこそ、抜き差しならない本物の気配がある、と私は思いつづけております。表通りは、陣笠連中が、おりに帰りで、ヤアヤアと手を挙げ、満顔の笑いで肩をふって歩くところですか。かつて、戦争中、勢いのよい軍歌はすべて表通りで、サマになっていませんでした。「勝ってくるぞと勇ましく、あるいは、見よ東海の空あけて、更に金鶏輝く日本の」。裏通りの歌も、一つ二つだけありました。「戦友」です。「ここは御国を何百里／はなれて遠き満州の／赤い夕日に照らされて／友は野末の石の下」。いい歌です。裏通りの閑寂があまり



す。大声で叫ばない真実があります。最近、あの岡城に、城を復元しようとするうごきが市の首長あたりにあると、大分合同新聞発行の「ミックス」という月刊誌で知りました。首長は旧制竹田中学一級後輩の生真面目な人ですが、復元に反対する市民も少なからずいるとききました。復元しても、つまりは、贗物。陣笠通りで、われらの竹田がシャチホコばって欲しくない、という声もききました。同感です。とりとめのないことを書きました。皆様、御健勝の程を。(十九年卒)

バー徳丸

私は今ここに、なぜ?

ここは銀座八丁目五十八森川ビル2F。リクルートセンタービルの裏。私はバー「徳丸」のママだから。緒方は草深野、がらがらを通って竹田高校に通学していた頃、

誰が今のこの私を想像しただろうか。私でさえ夢想もなかったこと。黒と白のコントラストが素敵なピアノバー。はやりのレーザーカラオケはないが上手も下手もうまく合わせてくれるのがうれしい。

バー「徳丸」は徳丸和子さんがオープンして十三年。

徳丸和子さんは竹田高校昭和三十七年卒、バーのママが板について来た感じ。

外堀通り(旧電通通り)

リクルート	住友銀行	日航ホテル
-------	------	-------

	徳丸	
カタリ		コージコーナー

並木通り

中央区銀座8-5-18
森川ビル2F
(アマンドの二階)
TEL (571) 1284

新橋センター

クラス会情報

兔追いし……………

中村陸雄

会員のみなさんは、京にあつて故里の香りを味わいたいとき、どのようにしていらつしやるだろうか。

(箱根でのクラス会)



最近、私が上京した当時からみると、すべてにわたつて隔世の感。物産展もあるし、宅急便で送りつけてもくれるし、いながらにして故里の香りを味わうことができる。

それもあるが、故里の香りを味わうには、もう一つの方法がある。

あの人、この人と会えば、中学校のグラウンドが、正門が、広瀬神社のマストが、生き生きと浮び上つてくるといふ人がいる。

若き日、それぞれの思いを秘めて、故里を後にした者共が、いつの日からか、相集うことになった。

もう、あれから十数年はたつてある。いつ始まったのか記憶も定かではない。言いだしつべは、だれだったかも忘れてしまったくらい。

それから、かかすことなく、毎年正月には、相集う。

はじめのうちは、それぞれの家を順にお邪魔して、奥さんの手をわずらわしたが、だんだん年を重ねていくうちに、いつの間にか、誰の心にもわきおこつてきたのであろう奥さんたちの手をわずらわすのは、心苦しいというこ

とになつて……………今は、メンバーのある人の世話で研修施設に一泊をきめこんで、正月の一夜をすこすようになつてきている。

同級会かといえ、そうでもない。中学校時代の上級生もいれば下級生もいる。同職もいれば、そうでない人もいる。もう定年退職の年代だから無職のものもいる。何ともわけのわからなような会であるから名前もない。

しかし、それぞれが話しはじめるとちゃんと故里の香りがただよつてくるのである。その呼びかけは「よつちゃん」「あきちゃん」「だいちゃん」「あおちゃん」「しめちゃん」「ごろうちや

ん」……………なんとも、この呼びかけだけで、まったく一年間接してなかつた世界がひらける。「懐しいな」という言葉もとびですが決して懐古趣味だけの会でもない。

しかし、みな一様に思うことは、一人一人が知らないことが、ぼんぼんとびだす。皆の顔が、目が輝く。四十年前の世界が新しい意味をこめてえがきだされていく。いつの間にか、こういう集いがあつてもいいのだときめこんでいる。今年も来年会うことを約束して別れたばかり、もう四月の声を聞く。お互いに精一杯生きていくことだろう。

(二十年卒)



第三十七回

東京二八会開催

(節目の年は全国合流)

さて今年の例会は次の通りでした。

一、とき 平成二年三月三日(土)

PM 6・00

一、ところ KKK東京竹橋会館

十二F

一、会費 男 八、五〇〇円

女 七、五〇〇円

幹事、河野元義、本田益雄

神野百合子、天野冬海

※出席者数、四十五名でした。

私達は竹田高校第五期、昭和二十八年卒業生(構成メンバー約八十名)の集い東京二八会です。昭和二十九年を第一回目とし爾来、延々三十七回を積み重ねてきました。毎年、二八に因んで二月八日に近い週末が定例集會日、毎回、男女各二名の持ち廻り幹事がつとめ既に三巡目になろうとしています。二十周年は熱海で、三十周年は母校で、三十五周年は箱根で全国より集合しました。来る四十周年は別府の予定です。

「たけのこ三八会」のこと

吉場 伸子

昭和六十一年の秋、竹田高等学校を卒業して二十三年が経過して、我々三十八年度卒業生は四十路を迎えていました。男性は脂ののり切った働き盛り、女性は子育てをほぼ終了してホッと一

息ついて、まわりを見渡すゆとりが出て来た頃でした。宇都宮在住の野中（旧姓阿南）典子さんの音頭とりで、関東在住の三十八年度卒業生の同期会が開かれました。

翌年の六十二年秋の第二回目の同期会で、この会の名称を正式に「たけのこ三八会」と称することに決まりました。そして、この会の発足に多大なご尽力をいただいた野中典子さんに名誉幹事になってもらい、幹事は持ち回りとして毎年十一月の第二土曜日に「たけのこ三八会」を開くことが決定しました。

「たけのこ三八会」のいわれは同じ学び舎で同じ年に学んだ竹田っ子が、故郷を離れたこの関東の地で親睦をはかるとともに、この会がスクスク伸びるタケノコのように末永く続き、又懐しい竹田をいつまでも忘れないようにとの思いをこめたものです。

現在、「たけのこ三八会」に該当する関東在住の人はおよそ七十名で、毎回二十五名から三十名の出席者があります。皆それぞれに立派な社会人となっていますが、笑顔には学生時代の面影が残っており、一年ぶりに懐しい顔が



そろりと、瞬時に昔に戻って、大分弁まる出して昔話や郷里の話に花を咲かせ、時間を忘れる程楽しいひとときを過ごしてしまいます。

そのあとの二次会として、新宿歌舞伎町で「ニューロパン」というお店をやっている同会員の土居三代子さんのところに遅くまでお邪魔して話し込むのが恒例となっています。

この「たけのこ三八会」にまだ一度も出席されたことのない三十八年度卒業の皆さん、是非一度出席してみてください。時があつという間に四半世紀の昔に逆戻りして、懐しい顔々、懐しい話に出会えます。

関東同窓会とほぼ時を同じくして発足した私達の「たけのこ三八会」はまだ活動が始ったばかりですが、母体である関東同窓会と共に益々盛大に発展してゆくことを心から願っています。

三十八年度卒業の皆様、ご協力を心から願います。

(三十八年卒)



お礼

御寄付ありがとうございました。

この会報発行のために、名誉会長宮崎貞光氏（大正十四年卒、帝国ホテルほか都内六店で宝石商経営）から、多額の御寄付をいただきました。ここに厚く御礼申し上げます。

宝石・真珠・貴金属

株式会社 旭商店
代表取締役 宮崎 貞光

宝石の 旭

- | | | |
|---------|-----------------|-----------|
| 帝国ホテル店 | 帝国ホテル地下1階アーケード | ☎503-2528 |
| インベリアル | プラザ4階 | ☎501-2731 |
| 日活店 | 日比谷日活アーケード | ☎271-9336 |
| アートセンター | 日比谷日活アーケード | ☎271-6260 |
| 新宿店 | 新宿住友ビル内ジュエルパレス | ☎344-6874 |
| 池袋店 | サンシャインシティ アルパ2階 | ☎985-7753 |
| 外商部 | 日比谷パークビル | ☎215-3650 |

会員点描 (その二)

『花筏』後藤紀子著(昭和二十八年卒)
 (現代書林)が五月に発売されました。
 折りも折り、史上最高の66ヶ国が参
 加、世界中の熱い眼差しをむける、大
 阪の『花と緑の万国博』草木の美を、
 甲子園球場の35倍の広大な大地に展開
 中。この中でひとときわ黄金色で眼を引
 く『いちよう館』好きやねんプラザで
 工芸盆栽は一身に話題をさらいNHK
 のテレビ、ラジオが密着取材で大きく
 報道されました。

後藤紀子さんはその工芸盆栽に幽玄
 美を入れたいと「その一念でいま、私
 は命の炎を焚き上げていく」と花のエ
 ッセイ集として、別府で生まれ、竹田
 で育ち、京都で学び、東京で工芸盆栽
 を創案した足跡を自伝風にまとめてい
 る。
 「華道界に新しい芸術領域を打ちたて
 た、池ノ坊の鬼才が世に問う工芸盆栽
 の幽玄美」と高く評価されている。
 * * *

広報委員会より

去る三月十四日の役員会で、会報名
 が「臥牛」ときまりました。

「臥牛」についての説明は、渡辺正治
 副会長にお願いしました。(三面参照)
 図案は高山英一画伯(昭和十七年卒)
 に依頼いたしました。岡城址の石垣に
 豊後梅をあしらったすばらしい「臥牛」
 ができました。この紙面を借りてお礼
 申し上げます。今回より使用させてい
 たいただきます。なお紙面に使用してある
 カットも画伯の作品です。「臥牛」のた
 めに作成してくださいました。ありが
 とうございました。

同窓会報の目的は、申すまでもなく
 「会の活動及び会員の動静を広く報ず
 る」ことだろうと思えます。そのため

総会スナップ



には、是非、会員各位からの情報の提
 供が必要です。

各クラスの幹事の方をお願いします。
 クラス会開催の案内状を広報委員まで
 お送りください。(クラス会には出席し
 ません。)

また、「会員点描」のための記事を集
 めております。その方の点描、紹介を
 お願いします。臥牛編集子は、じっと
 座臥していても記事が集まる会報にし
 たいものです。

ご協力をお願いします。

連絡先 広報委員長・足立 五郎

横浜市緑区青葉台2-24-10
 ○四五(九八一)○五三七



あとがき

☆「臥牛」第二号をお届けいたします。
 会報の充実を願って本号より、A4
 版四段ぐみ8ページだてにしました。
 しかし、記事集めに苦労しました。
 ☆「会員点描」として、飯尾憲士氏の
 玉稿をいただきました。できること
 なら、直筆で掲載したいと思いましたが、
 「ふるさと短信」第一号として、母校
 校歌の精神を市政に生かしている、
 竹田市長後藤宗昭氏にお願いしまし
 ました。

☆第三号は十二月に発行の予定です。

(A)